

ゲ謎／ゲゲ郎×水木

おおそ父→→←←←←水みたいな関係性
なんでも許せる人向け/ちょっと水木さんが拗らせてる本です



水木さん(白): 映画の最後で髪の色白くなったバージョン
記憶やら感情やらがごちゃごちゃしてるけど本人は
それで何も問題なく不都合すら感じていない様子
おそらく何が自分の幸せなのか分からない



目玉: なにもかも分かっていながら特に行動を起こす事もなく
見つめているだけの目玉 だって目玉だものって思ってる
水木さんのことはよかれと思ってそばにいるけど都合悪くなったら
家を出ていくタイプのゲゲ郎さん



鬼太郎: かわいい盛り 大きくなったらもっとかわいい



岩子さん: ほほほほ戦犯 かわいい 性格も容姿もとってもかわいい



水木さん(黒): 岩子さんと同居中 きっと一番苦労してる
あーもどかしいなあっておもいながらじっと(白)を見つめ
同一人物なので時々情報電波を流してる
腹のなかには(白)よりきつと純粋





記憶と野心と髪の色を失った俺を
会社は多額の退職金と共に見限り



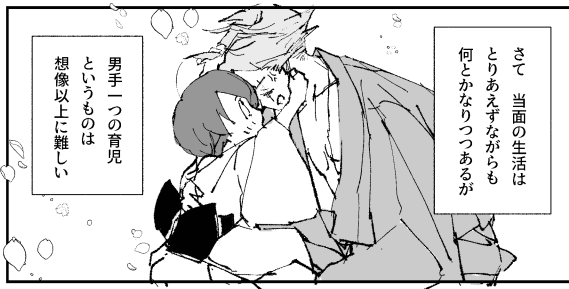
ここに至るまで
相変わらずあの村の事は
何も思い出せず

水木君
君 明日から
来なくていいから



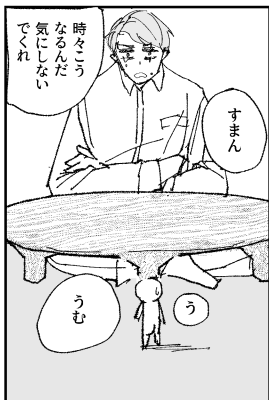
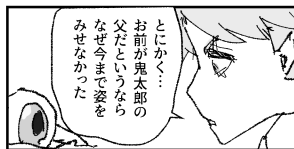
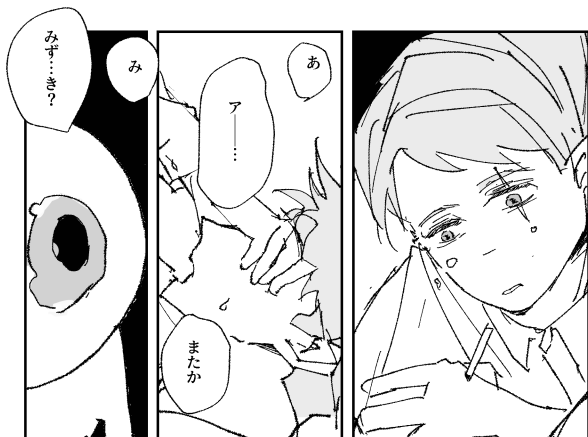
みう
きれいねえ

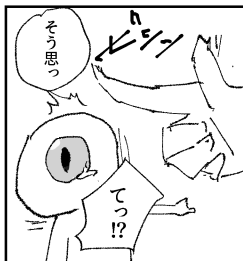
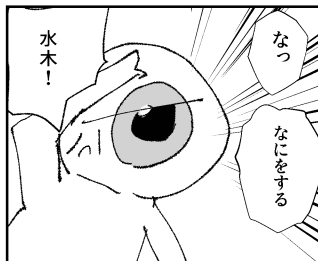
ゆえにいま
俺は男手一つで鬼太郎の子守に
専念できているのだった

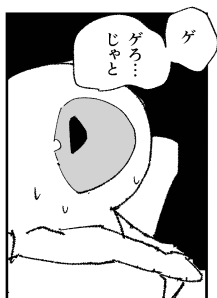




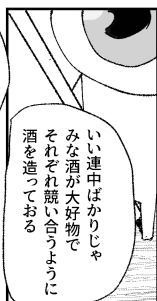




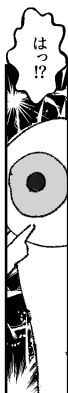
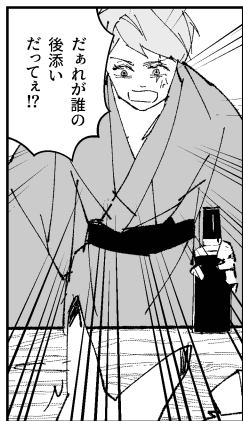












おい

鬼太郎寝かしつけてくるが

ゲゲ朗からもよく言い聞かせてやってくれ

お前みたいな男前が美人な奥さん差し置いて俺なんかもらう必要ないだろうってな

しかしあの人間が若君育てておるんだらう？

あれだけ親身なんじゃわしらならとくに祝言の一つや二つ挙げとるが幽霊族の基準はわからんのお

お主ら

よくも水木を怒らせたな

ひっ

やめんか親父殿そいつらの言うことも最もじゃ

詳しくは聞かんがお主…あの人間をどうする気じゃ？

ワシはお主の奥方も知っておるがの水木殿の気配はどういう事かそれによく似ておる

ハア

それは儂にもどうにもできん

気配と言ったが…儂の妻が一枚噛んでおるようじゃ水木はあの害で妻やご先祖の血に浸かり浴びておる

それが影響をしておるのか

水木はあの村で
死に近づきすぎた

あるいは魂が剥がれ
欠けたその時に
幽霊族のなにがしかが
『混ざった』か

人間の水木を土台に
幽霊族の妻の血を生き
長らえさせるため
接いだような

例えるならば
別種を生き長らえ
させるように
わざと『傷』をつけ
接ぎ木をする
ようなものか

まあこれも
僕の推測に過ぎぬ
けれど水木が
こうして生きて
くれたからこそ
今の鬼太郎と僕が
あるんじゃない
感謝しても
しきれん

何じゃ
難しいことは
わからん

幽霊族って
やつは
これだから…

何にしろ
あの者のおかげで
こうしてまた
お主と飲めるの
じゃな
幽霊族の長よ

まったく
その通り
よき事じゃ

じゃから
水木を
あの様な
呼び方で
呼ぶでないぞ

おいっ！

まだ後妻だ
なんだ
言ってるのか 目玉

僕は言うたらん

むしろ収めて
おつたん
じゃが！

鬼太郎は
無事に
寝付いたぞ

そうか
今日は
いつもより
早いろう

しかし
言ってることと
やっている事が
ただの連合い
なんじゃ…

水木殿
疲れた
じゃろう
一杯どうじゃ

あ

砂かけさん
いただきます

あー

天狗の酒は
染みるなあ！
何杯でも
いけそうだ

砂かけよ
ワシにも
もう一杯
くれんか

お前は水でも
のんでおけ
子泣きジジイが
どれだけ酒を
呑んでると
思っとるんじゃ

お婆ばは
いい男には
これじゃから

水木の
煮物は
美味い
じゃろ

天狗酒も
良いが次は
久しぶりに
大蛇の酒も
呑みたいのう

この家
いつも
お稲荷さん
あつて
最高

わし
揚げ物の方が
好きなんだが

ちよつと
親父殿
それ取って
くれんか

みつ

水木!!?

なんじゃ

なんじゃ

どうした

つぶれたか



突然騒がしく
なったと思えば

何だ

僕か





全くだ

てめえの尻拭いは
てめえで
やりたかったが
ちようどいい具合に
お前がいるんだ

というか

お前は
どうして
ゲゲ朗と
ここにいろ

俺の深層？

ここが？

僕は僕の深層で
こいつの記憶と
欠片を守って
いるだけだ

もちろん

自分^{てめえ}でさえ
捨てたような
厄介な
感情や記憶の
掃きだめだ

こんな底でくらい
惚れ込んだ
男への気持ちを
抱え込んでも
罰はあたるまい

……

確かに
我ながら
厄介そうな
感情だ

だろう

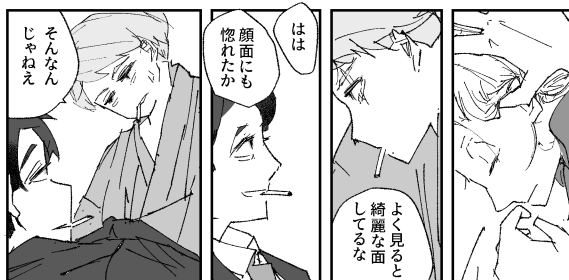
しかしそいつが
あの目玉とは

ずいぶんと
ナリが違うな

まあな

…なあ

おい



まあまあ
落ちつけよ

タバコの礼だ
僕に聞きたい事が
あるなら
答えよう
じゃねえか

なら教えろ

俺が何かを
思い出そうと
すると悲しいのは

こいつのせい
だと言うのか

それで
どうなんだ
俺はこいつに
惚れてんのか

ああも
男っぷりを
見せつけられ
ちやあ

惚れんわけ
にはいかな
だろう

国より
ゲゲ朗を
選ぶほど
には

思い出し
ちまえば
俺もお前
みたいに
色狂いにな
るのかね

うっそだろ
おい

まじか

いや
確かにそいつを
見ていると
ざわざわする

お
どうした
想定外か？

は？

おいやめろ

どうしようもなく
情けねえもんが
湧いてたまんねえ
そいつに近づい
ちまえば何やら
かすか分からん

覚えてねえ
とは怖えな

まさか僕自身の
惚気を
聞かされるとは
ハメになるとは

目は覚まさないのか？

なあ
こいつはずっと
眠ったままなのか

さあ？

そんなことより

!?

ちょ
ちよつと待て！
その髪どうなってッ
って聞けよこの
恋愛勘らせ野郎が!!

もうそろそろ
時間切れた

誰が
拗らせ
野郎だっつの

熱烈
ねえー

.....

.....

.....

岩子さん
あなたずっと
隠れたまま
でしたね？

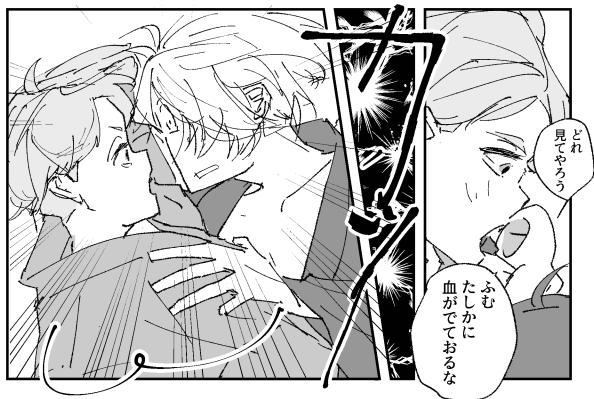
だってとっても
楽しい会話の
邪魔をしちゃ
悪いでしょ

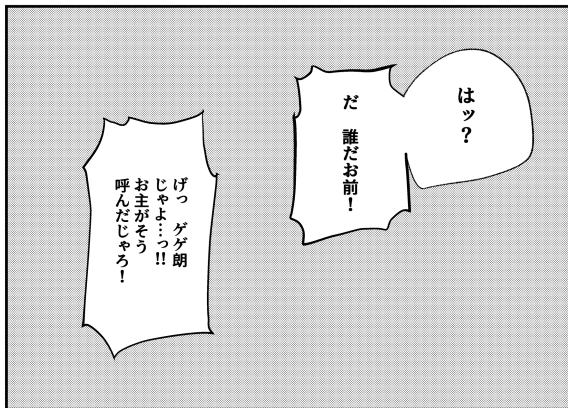
邪魔してくれて
いいんですよ！

えー！
私がでしゃばる
のは勿体ないわ









一年前はまさか自分がゲ謎本しかも漫画本をつくるなんて夢にも思ってたなく…
ゲ謎沼が深すぎて怖いです…
初めて長編っぽいページ数で描いたので読みにくいところもございますが
楽しんでいただけたらめっちゃハッピーです！

夢のまにまに

発行日：2025年1月12日

発行者：街田あとり

連絡先：rakkorimu@gmail.com

pixiv ID：www.pixiv.net/users/1347493

twitter：tori_sobaggg

印刷会社：栄光 さま

無断転載・複製・複写を禁じます。
また、ネットオークションやフリマアプリ等への
出品はご遠慮ください。